

メッシュ農業気象データ「時別値」の利用方法について

はじめに

これまで「メッシュ農業気象データ」は日別値のみの提供でしたが、時別値の提供をはじめました。現時点で、提供する要素は「気温、湿度」のみです。AMD_Tools3.py ライブラリを利用する Python での利用をお勧めします。

利用方法（概略のみ）

1) 最新の Python 用ライブラリ AMD_Tools3.py をメッシュ農業気象データの[公開用ページ](#)からダウンロードし、現在使用しているライブラリと入れ替えご使用ください。時別値用の取得関数「GetMetDataHourly」が利用可能になります。

2) GetMetDataHourly 関数の利用方法は以下のとおりです。

GetMetDataHourly(element, timedomain, lalodomain, namuni)

element: 気象要素の指定 現在は気温("TMP")、湿度("RH")の利用可能

timedomain: 日別値取得関数の「GetMetData 関数」に準じますが、時刻まで指定可能です。時刻を指定は、日付の後に"T"を挟んで時刻を指定する。

timedomain = [開始日時(+T 時刻)、 終了日時(+T 時刻)]

※ 時刻指定しない場合は、開始日時については指定日の1時のデータから、終了日時については指定日の24時のデータまでが選ばれます。

例1) timedomain = ["2021-01-02T03"、 "2021-01-03T02"]

→ 2020年1月2日3時から2021年1月3日2時までのデータを取得。

例2) timedomain = ["2020-01-01"、 "2020-01-05"] (日付のみの指定)

→ 2020年1月1日1時から2020年1月5日24時までのデータ取得

lalodomain: 日別値取得関数の「GetMetData 関数」に準じます。
lalodomain = [lat1, lat2, lon1, lon2]
→ 緯度範囲(lat1~lat2) & 経度範囲(lon1~lon2)のメッシュデータを
取得
namuni デフォルトは false trueを指定すると、単位が出力される。

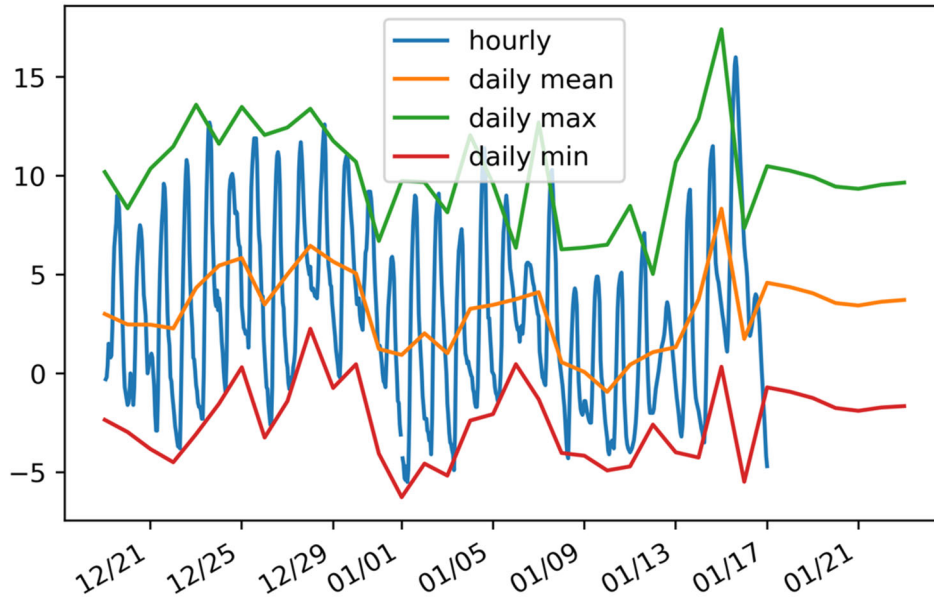
3) サンプルプログラム

その1) Sample_GetMetData-Hourly_a.py : 20 日前から 15 日先までの範囲で、時別値と、日別値
(日平均、日最高、日最低)をプロットする。

【プログラムの作図例】

lalodomain = [36.00417, 36.00417, 140.0063, 140.0063]

2021 年 1 月 8 日に実行

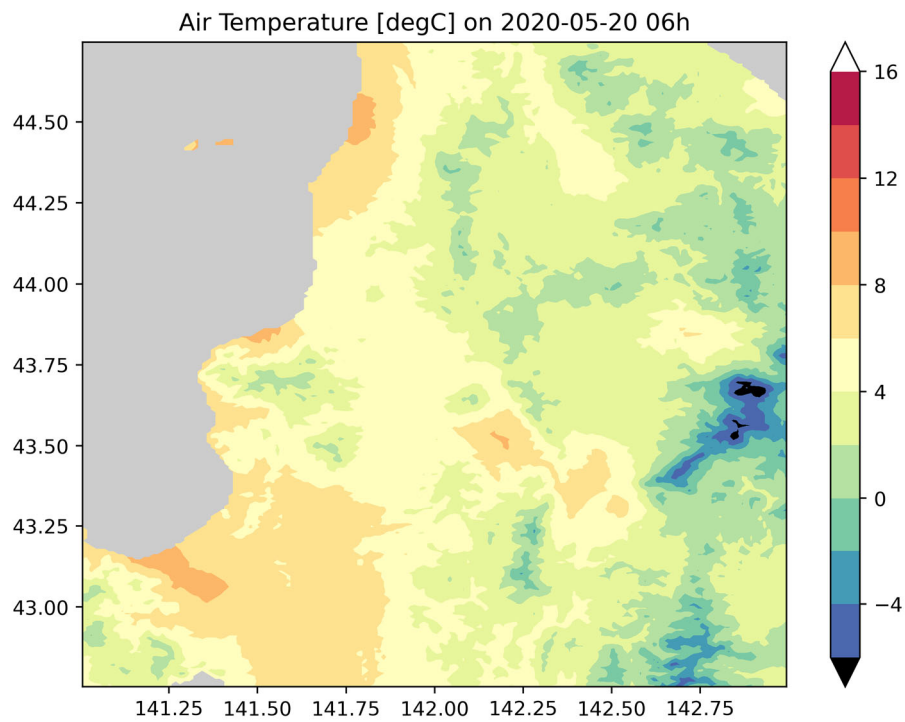


その2) Sample_GetMetData-Hourly_b.py: 指定日時の空間分布をプロットする。

【プログラムの作図例】

lalodomain = [42.75, 44.75, 141.0, 143.0]

timedomain = ['2020-05-20T06', '2020-05-20T06']



4) 補足

2020年12月31日24時のデータは無効値となっています → 利用できるよう調整中
過去の値は、2018年1月1日以降が利用可能です。(2018年より前の過去データは作成中)

2021年12月23日
農研機構 北海道農業研究センター
根本学